

What's Yonago? 米子ってどんなところ?

ほわっと よなご

米子市移住定住ガイドブック

Ⅰ 米子定住インタビュー

河村和人さん〈飲食店オーナー〉
畑山祐輝さん〈臨床検査技師〉
木本昌夫さん〈白ねぎ農家〉
榊原 忍さん〈航空会社勤務〉
上野永輔さん〈会社員〉

水
まち
自然
エンジョイ!
よなご

ほどよく都会、
ほどよく田舎、
ちょうどいいね。

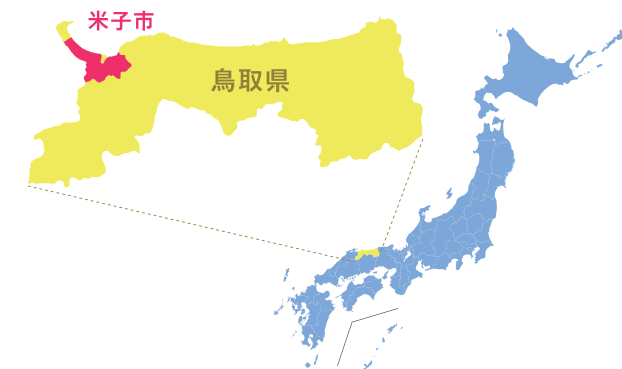
お試し
住宅
あります!

✧ 米子市



車で《米子ICまで》

大阪から	約3時間20分 中国自動車道から米子自動車道経由
岡山から	約2時間 中国自動車道経由
広島から	約3時間 中国自動車道、松江自動車道経由
福岡から	約5時間40分 中国自動車道、松江自動車道経由



長距離高速バスで《米子駅まで》

東京から	約10時間45分(夜行便)
京都から	約3時間55分
大阪から	約3時間35分
岡山から	約2時間25分
広島から	約3時間40分
福岡から	約8時間50分(夜行便)



飛行機で《米子鬼太郎空港まで》

東京から	約1時間25分
ソウルから	約1時間40分
香港から	約3時間45分



新幹線・鉄道で《米子駅まで》

東京から	約5時間50分(新幹線・岡山経由→伯備線特急)
大阪から	約2時間50分(新幹線・岡山経由→伯備線特急)

お問い合わせ

米子市役所 米子市移住定住相談窓口

〒683-8686 鳥取県米子市加茂町1-1 tel.0859-23-5359 fax.0859-23-5392

e-mail iju@city.yonago.lg.jp

<http://www.city.yonago.lg.jp/iju/>

米子市 移住

検索

発行／米子市〈2019年6月改訂版〉※取材対象者の年齢、在住年数は取材・編集時(2016年10月)現在の年齢・年数です。※無断転載、コピーはご遠慮ください。





町中に漂う
やさしい空気。
当たり前にある
降るような星空。
何気ない毎日が
小さな喜びの連続で
つながってゆく。
もしかしてここは
理想に近い場所。



今 より心豊かな暮らしがしたい、そう夢を描いて移住を考えても、その一歩が踏み出せない。なぜなら、理想だけでは生活できないことを知っているから。仕事はあるの？ 買い物には困らない？ 病気をしたらどうしよう！ など、不安要素について足踏み。もしも、それが現状なら、ぜひ米子に出会って欲しいと思います。

鳥取県の西端に位置する米子市は、人口約15万人の商工業都市。買い物や学校・仕事など日常生活の利便性に併せて、車で30分圏内には、日本遺産に認定された大山麓地域や、国内屈指の水揚げ量を誇る境港など、自然環境も豊かです。交通アクセスも米子自動車道経由で大阪までは約3時間20分、米子鬼太郎空港から東京までは約1時間25分という意外な近さ。心配な医療に関しても、人口あたりの病院・診療所数が全国平均の約1.5倍、医師数は約2.5倍、看護師数は約1.5倍という頼もしさ。ほどよく都会で、ほどよく田舎。米子市は、理想と現実がちょうどいい具合に折り合う場所です。

右／家族と一緒に。「大阪時代は子育てに孤独感を感じていた」と佳代さん。今は家族のサポートも得て、気持ちにゆとりが生まれました。左上／大阪時代のキャリアを活かし、イタリアンの店を起業。本格的薪窯ピッツァが食べられる店と評判が広がり人気店に。左下／店舗は商店街の居抜き店舗を活用した。



米子暮らし

米子市定住インタビュー

農業がしたい。起業したい。いい環境で子育てがしたい。きっかけはさまざま。縁あって米子で新しい暮らしをはじめた五組五様の豊かな生活スタイルをご紹介します。

米子
yonago
LIFE

case
01

飲食店オーナー
河村和人さん



Profile ● 河村和人
職業／飲食店オーナー
年齢／40歳
家族構成／妻・佳代さん(32歳)、長男・隼くん(7歳)、二男・要くん(3歳)
在住年数／4年

大阪府出身。大阪のイタリアンレストランに勤務後、妻・佳代さんの実家である米子市に1ターン。

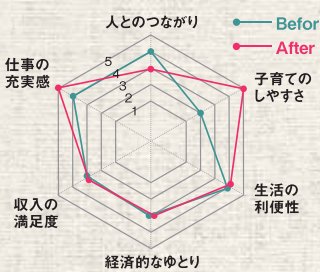
子育ての安心が 起業を支えてくれた

か

つての商店街の賑わいを取り戻そうと、近年若いオーナーたちがまちづくりを進める「四日市町商店街」。カフェやこだわりのショップが並ぶこの街の一角に、2012年2月、河村さんは「マカロニ食堂」を開いた。大阪時代、仕事に忙殺され家庭は妻・佳代さんに任せきりだったという河村さん。「家庭を大事にしたい、ゆとりをもって子育てをしたい」と、佳代さんの出身地である米子市への移住を決断した。当初は就職を考えていたが、起業を思い立ち、居抜きの店舗の内装に「にぎわいのある商店街づくり事業補助金制度」を活用し、発起からわずか5か月でオープンに漕ぎ着けた。「米子の人は壁を作らずスムーズに受け入れてくれた」と、河村さん。

カジュアルなイタリアンの店として人気を呼び、順調に客足を伸ばしている。空いた時間には自然の中で、バツタを捕まえたり、畑の野菜を採ったりと、子どもたちと遊ぶのがリフレッシュの源になっている。多忙な毎日には変わりないが、大阪時代とは心のゆとりが違う。

移住前、移住後の満足度指数



子育て環境が格段に良くなり、心のゆとりが生まれた。ご主人は仕事上のつながりはできたが、プライベートの友人をつくっていくことがこれからの課題。



弓ヶ浜からみえる大山

白砂青松百選にも選ばれている弓ヶ浜。日本海越しに見える四季折々の大山の姿が美しく、子どもとよく散歩に出かける場所。

米子のいいところ Best3

- 子育て環境がいい**
自宅周辺の豊かな自然すべてが遊び場。小児科などの病院も充実。
- 水道水がおいしい！**
米子の水道水はペットボトルで売られているほどおいしい。店でも水道水を提供。
- 新鮮で豊かな食材**
野菜でも海産物でも新鮮なものが手に入り、何でもおいしい。

明るく開放的!! フレンドリーな米子人

実は米子は元祖1ターンのまち! そのルーツは江戸時代。山陰の大阪といわれた商人のまちは、明るく開放的な米子人の気質を育んでいきました。

みんな
つえるかも!

気さくな人が
多いです!

加茂川の白壁土蔵群の裏手には、お洒落なショップやカフェが並んでいる。



シューズショップ
オーナー
判澤正大さん

カフェ店員
荒木早知子さん



昔懐かしい駄菓子屋さんには、いまでもおばちゃん
が店を守り近所の子ども
たちが集まってくる。



上／400mにわたって9つのお寺が並ぶ寺町界隈。下／かつて天守閣があった米子城はいまは石垣だけが残るが、ふもとから約15分の頂上から望む大山、日本海、島根半島、中海は絶景。

私も東京からの
1ターンです



町おこしにも
力を入れています。

創業200年を超える
長田茶店の
長田吉太郎さん
碧さん夫妻



親切で
あたたかい街!



若いオーナーたちが新しいまちづくりを進める四日市町商店街。旧銀行を改装した店舗や町家風の店舗など、雰囲気あるこだわりのショップが集まっている。



家具・雑貨店店長
安達剛士さん



松田染物店13代目
松田成樹さん



商店街にはいまでも変わらず営業を続ける老舗も点在する。明治初期創業の和楽器専門店もそのひとつ。



白壁の土蔵や旧家が並ぶ旧加茂川界隈。商都として栄えた当時の面影をいまでも色濃く残している。

もともと米子市役所だったレンガ風の建物は、現在は山陰歴史館となっている。

米子のいいところ Best3

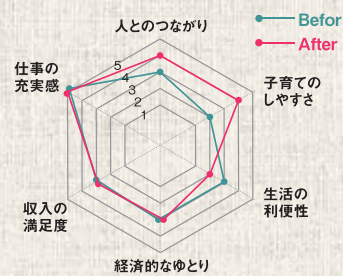
- 01 海も山も全てが近い！
当たり前のように身近にある自然の中で、子育てしがいがある環境です。
- 02 魚がおいしい
境港が近いので、普段、近所のスーパーで買う魚も新鮮なもの。そのうえ安い！
- 03 みんなのんびり、穏やか
大人も子どももみんな人柄が穏やか。誰に対してもやさしいし、おおらか。



米子市児童文化センター

図書室・プラネタリウム・遊具などが充実。プレーパークで子どもを自由に遊ばせたり、定期開催されるフリーマーケットで子ども服を見つけるのが楽しみ。

移住前、移住後の満足度指数



オープンな市民性によるものなのか、職場や近所の人たちとの関わりがスムーズで、ストレスを感じない。それは子育てのしやすさにもつながっていると思う。

くて穏やかな人が多いように思います。社交的な千都さんは、ママ友もすぐにできて、子育てサークルのリーダーを務めたり、児童文化センターで定期的に催されるフリーマーケットに通ったり、充実した子育てを楽しんでいる。

「海も山もすぐ近くて、子育てしがいがあります。大山や境港、温泉や大型ショッピングセンターなど、どこも車で30分圏内。ファミリーイベントを見つけては、3人で参加するのも楽しみのひとつ。米子市公会堂で開催されたハロウィン☆ハッピーパレードの仮装コンテストで3位に入賞したり、近隣地域で行われるマラソン大会にエントリーしたり、「おもしろいこと」にアンテナを張って、米子ライフを満喫中だ。



上／自然豊かな住まいから、市街地にある勤務先の鳥大病院までは、車で20分程度。ストレスのない通勤もお気に入りだ。
右／最先端の設備が充実する中、仕事に打ち込む畑山さん。



米子は医療機関・医療従事者の数が多い!!

	米子市 施設・職員数	人口10万人あたり施設数・職員数 米子市 ■ 全国平均 ■
一般診療所	152	102.51 ■ 68.23
病院	13	8.77 ■ 6.62
医師 ※	580.65	391.62 ■ 156.16
看護師 ※	1585.90	1069.59 ■ 649.23

2014年7月現在の地域内医療機関情報の集計値(人口10万人あたりは、2010年の国勢調査総人口で計算/日本医師会調べ) ※常勤換算人数

Profile ● 畑山祐輝

職業／臨床検査技師
年齢／29歳
家族構成／妻・千都さん(31歳)、
長女・奈乃葉ちゃん(3歳)、母・
智子さん、祖父・晴一さん
在住年数／4年

岡山県岡山市出身。金沢市で大学を卒業し、臨床検査技師として3年間金沢の病院に勤務の後、母・智子さんの実家がある、米子市に1ターン。



千都さんは金沢出身、地元で保育士をしていた。現在も子育ての傍ら、パートで保育園に勤めている。「土地柄でしょいか、お子さんも保護者さんも、やさし

「救急外来が多く、毎日が忙しい。鳥取県西部はもちろん、鳥根県東部からもドクターヘリで患者さんが運ばれてきます」。緊張感が続く仕事のため、休日には友人たちと野球に熱中したり、「昔ながらの飲み屋街といった雰囲気が好き」という市内の繁華街「朝日町」で息抜きをしたり、上手にオンとオフのバランスをとっている。

金 沢市で出会い、1ターン直前に結婚式を挙げた、畑山祐輝さんと千都さん夫妻は、2012年4月から米子市に暮らし、4年半。その間、奈乃葉ちゃんが生まれて3人家族となった。移住を決めたきっかけは、岡山から米子に帰っていた母・智子さんと、一緒に暮らすためだ。

祐輝さんは現在、金沢時代と同じく臨床検査技師として、鳥取大学医学部附属病院に勤務する。



米子市新山の川越山(通称おにぎり山)をバックに、右から、祖父・晴一さん、祐輝さん、奈乃葉ちゃん、千都さん、母・智子さん、犬のクマ子。実家を改装し親子4世代の賑やかな生活がはじまった。

医療人としての働きがいと充実した暮らしの両立!



鳥取大学医学部附属病院は、「医大さん」「医大通り」と地元で親しまれながら、患者さんにも、そして働く職員にとってもやさしい病院であることを目指しています。山陰地方の中核病院であり、高度医療の提供や医療人の育成、先進的な研究開発などに取り組み、地域の人々の健康を支え、安心を届けます。

自然に恵まれ、「ほどよく田舎」。でも交通や買い物にはとっても便利で「ほどよく都会」。そんな米子市の鳥大病院で、医療人として能力を発揮し、輝いて働きませんか?

プロフェッショナルとして
充実した仕事を
していただくために。

- キャリアの継続、ステップアップを支援
- 院内保育所や学童保育・病児保育を実施
- ひとり親家庭をはじめとする子育て家庭に働きやすい環境づくり
- 仕事と介護の両立を支援、勤務形態への配慮を実施

医療のまち
「よ+よご」



case
02

臨床検査技師
畑山祐輝さん

米子
yonago
LIFE

海に山に人に恵まれ
子育てが楽しい



内視鏡手術支援ロボット「ダヴィンチ」。執刀医は手術部を立体で10倍まで拡大して映すカメラ画像を見ながら、ロボットアームを遠隔操作することができる。肉眼よりもクリアに見え、精度が高い手術が安全に行えるのが特徴。



鳥取大学医学部附属病院が運用しているドクターカー（右）とドクターヘリのヘリポート（左）

救命率向上が図られています。また、全国に先駆けて手術支援ロボット「ダヴィンチ」を導入。身体への負担を少なくするとともに、合併症のリスクを減らし、術後の回復を早められる低侵襲外科手術を実践し、国内屈指の高度な医療が提供されています。

予防・検診においては、各医療機関の力を借りて予防接種を実施。胃がん検診においては、全国に先駆け内視鏡を導入。子宮頸がん検診においては、鳥取大学医学部の協力により平成29年まで、20歳から49歳までの対象希望者に無料でHPV（※）併用検診を実施しています。

※HPV…子宮頸がんの原因となるヒトパピロームウイルス

+ 充実した医療・介護環境 健康安心都市「よなご」



医療・介護環境の充実は、移住を真剣に考えれば考えるほど、重要な判断基準になるでしょう。

米子市には、鳥取大学医学部附属病院、山陰労災病院、米子医療センター、博愛病院など、大規模な病院が所在し、人口規模あたりの全国平均を上回る数の医療施設・医療人材を保有。大規模な病院と地域の開業医が連携し、日々充実する質の高い医療サービスが提供されています。同様に、介護施設においても全国平均数を上回り、充実の介護サービスが提供されています。

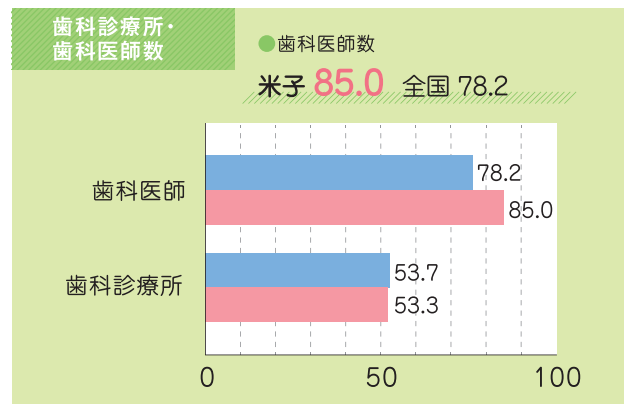
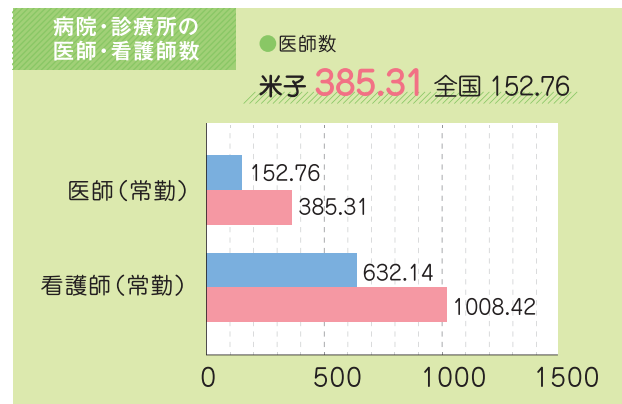
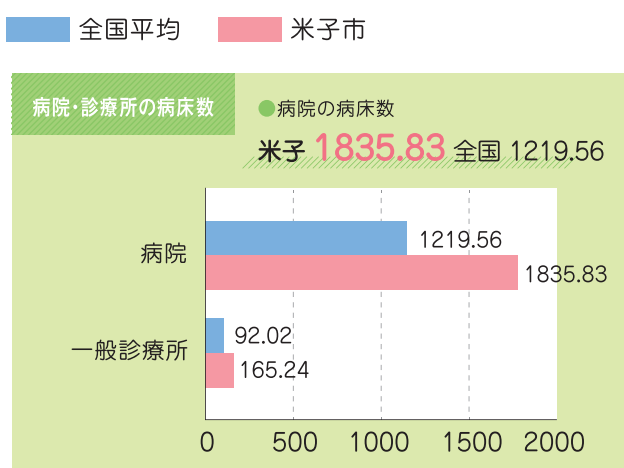
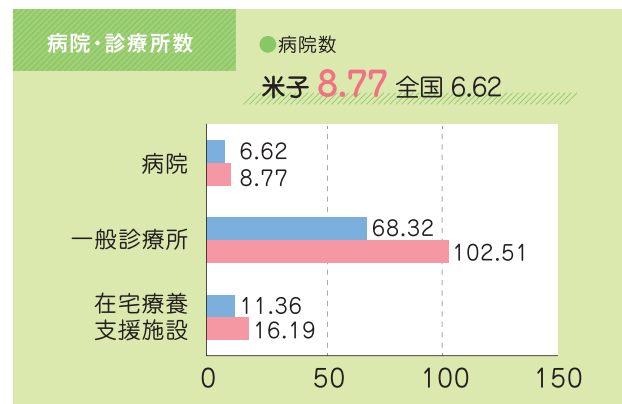
このように米子市は、充実した医療・介護環境の中で、子どもからお年寄りまで、市民みんながいきいきと安心して生活できる「健康安心都市」となっています。

医療環境の充実

鳥取県西部の医療供給の中心的エリアである米子市は、病院および一般診療所の施設数・病床数が多く、総合的に質・量とも全国平均を大きく上回っています。

救急医療においては、鳥取県西部医師会が運営する休日および夜間における急患診療所と、鳥取県西部歯科医師会が運営する歯科保健センターの休日歯科診療所が機能しています。さらに、鳥取大学医学部附属病院では、ドクターカー、ヘリポートの運用が開始され、

人口10万人あたりの施設数・職員数



2016年米子市役所調べ

高齢者にも 子育て世代にも やさしい街



高齢者支援

介護においては、ほぼすべての種類の介護サービス事業所・施設を整備。多様なニーズに対応できる状況を実現しています。

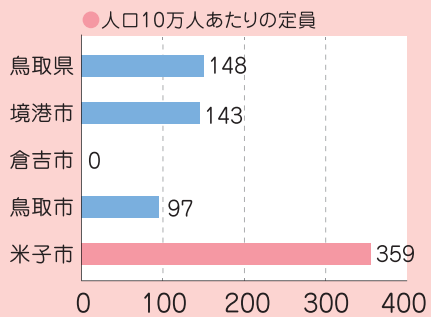
在宅医療においては、かかりつけ医を持たない大規模病院等からの退院者を支援するため、西部医師会在宅主治医・連携医調整室を設置。病診連携の体制を整えています。

病児・病後児保育

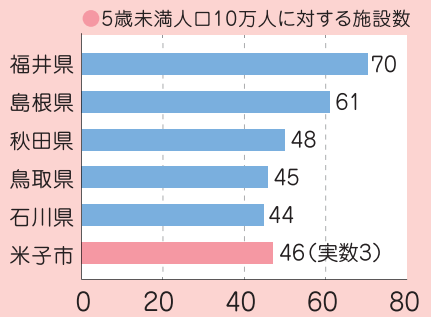
鳥取県は、人口規模あたりの病児・病後児施設数において、全国4位のランキング。米子市に限っていえば、その水準をさらに上回っています。

米子市の特長は、すべての病児・病後児施設が病児保育を行っていること。全国の施設で定員4人とするところを、米子市の施設では定員6人以上として、利用しやすい状況を実現しています。

有料老人ホーム等の施設



都道府県別病児・病後児施設数トップ5



2016年米子市役所調べ



米子 LIFE

健康体を取り戻した
公私共に充実した生活

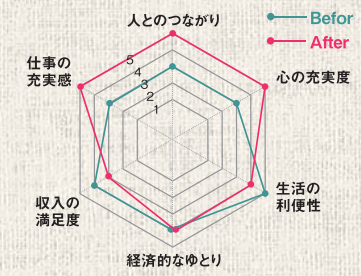
米子のいいところ Best3

- 01 人が温かい
親戚もいない環境の中、自然に受け入れてくれ、親身になって接してくれる。
- 02 豊かな四季
自然豊かで、都心に暮らしていた時には感じなかった四季をはっきりと感じる。
- 03 ほどよく都会で、ほどよく田舎
買い物、病院など日常生活に困ることはない。高速道路、空港も近くて便利。



温泉めぐり
皆生温泉や大山の温泉など、近場に温泉があり、休日の湯めぐりが楽しみ。少し足を延ばせば、鳥取県・島根県には、三朝、関金、安来、玉造などの名湯や秘湯、日帰り温泉や足湯などがたくさんあります。

移住前、移住後の満足度指数



収入は減ったが、生活費が抑えられるので経済的なゆとりは変わらない。温かな人々と関わり合いながらやりがいのある仕事に携わることができ日々充実している。

case 03

米子 LIFE

近所の人みんなが
農業の先生

白ねぎ農家
木本昌夫さん 春美さん

米子の白ねぎは
一年中おいしいです



米
子市の弓浜地域は特産の白ねぎ畑が広がっている。ここで白ねぎ栽培に取り組んでいる木本昌夫さん・春美さん夫妻は2011年に大阪から1ターニンしてきた。

いつかは自然豊かな場所で農業をして暮らしたいと思っていた木本さん夫妻は、参加した大阪で開催された農業フェアで、鳥取の農業支援制度が充実していることを知り、1ターニン先に選んだ。「鳥取県農業農村担い手育成機構」の研究制度を利用し、最初の一年は機構の研究生として雇用されながら、農業のいろ

○ **米子の特産の白ねぎは周年栽培で安定収入!**
西日本屈指の白ねぎの産地である鳥取県で、生産量第1位を誇る米子市。弓浜半島の砂丘地帯などで周年栽培を行っており、関西方面を中心に出荷されている。

Profile ● 木本昌夫
職業／白ねぎ農家
年齢／42歳
家族構成／妻・春美さん(41歳)
在住年数／5年

大阪府出身。サービス業を17年務めた後、一念発起、親類知人のいない米子へ1ターニン。

case 04

航空会社勤務
榊原 忍さん

東
京から米子へ赴任した当初は、営業と空港業務を兼任する慣れない業務。高血圧で薬が手放せなかったが飲むことを忘れずにいた。3か月後、やっと病院で受診すると、不思議なことに血圧は正常。以来、薬は必要ない。「しかし酒席も増えたのに、なぜ...」

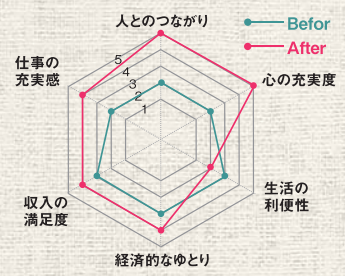
思いあたるのは、自然と空気が人。「食べ物のおいしさは北海道に勝るとも劣らないし、値段はこっちの方が安い」と、魚を食べる機会も増え食生活が変わった。接待で年に3回ほどだったゴルフも今では20回以上。「米子に来て初めてゴルフって楽しい!」と思えた。一緒にラウンドする仲間の気持ちも良くて。なによりゴルフ場が安くて近い。異業種の集まりをきっかけに始めたボクシングで五十肩が治り、7〜8年患っていた脂肪肝も改善したという。

米子の街で気づいたのは「先端医療を提供する病院や医院が多いこと。老後も安心」と榊原さん。リタイア後もそのまま米子定住と決めている。「他所に住もうという気にはならない」のだ。



米子空港と支店のある米子駅前を行ったりきたりの毎日。

移住前、移住後の満足度指数



確かに利便性は良くないが、慣れてしまえば問題ない。前任地では得られなかった人とのつながりや、食のおいしさは特筆できる。



朝日町のレトロな雰囲気
迷路のような路地に小さな飲食店がひしめく昭和レトロな飲み屋街。気さくな店主との会話も面白く、常連になる楽しみがある。

米子のいいところ Best3

- 01 人の和
よそ者でも快く受け入れてくれるので、自然と人の和が広がり趣味も増える。
- 02 ゴルフの環境
車で30分かつらぎ行けるゴルフ場が豊富。どうにかすると料金も東京の半額以下。
- 03 充実した医療機関
大学病院をはじめ各医療機関が多いことに気づく。大きな安心感がある。



Profile ● 榊原 忍
職業／航空会社勤務
年齢／57歳
家族構成／妻・晴美さん(57歳)
在住年数／3年

愛知県清須市出身。愛媛・埼玉・東京に次いで、2012年、米子市に赴任。長女は独立し、現在、妻と二人暮らし。

米子の水は
とてもおいしい
です。

地元の白ねぎ農家のみなさんと、「みんなが農業の先生、ありがたいですよ」と木本さん。

幸せな孫ターン 独身から結婚、そして父親に

case
05

会社員

上野 永輔さん

孫

ターンという言葉が広く認知される以前の2011年、東日本大震災を機に、横浜からひとり移住し、父方の祖母の家で暮らしはじめた上野さん。3年後には、米子―東京間の遠距離恋愛を成就させ、智美さんと結婚。その1年後、双子のババとママになった。

現在、共働きで子育ての真っ最中。育児は大変だけれど「おじいちゃん、おばあちゃんがいってくれて、本当に助かっています」。上野さんは、米子に来てからずっと地元の会社に勤務す

る。「仕事柄、山陰各地を飛び回り、様々な人に会って、吸収することが本当にたくさんあります」。休日には、家の手伝いで畑の草刈りをしたり、トラクターに乗りたり。趣味の草野球やフットサル、近くの日野川で家族揃ってカヌーをしたり。仕事に、趣味に、米子暮らしを満喫している。

そんな充実した姿が目に残り、米子市移住アドバイザーに任命された。目下の目標は「地区対抗運動会で優勝すること」と地域の若きリーダー的存在にもなっている。

米子のいいところ Best3

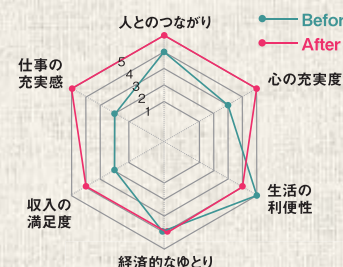
- 01 アウトドアが身近に
海・山・川すべてが身近にあり、アウトドアスポーツが気軽に楽しめる。
- 02 空港が近く駐車場は無料
車で30分圏内の米子空港は駐車場無料。東京へは約1時間25分で到着。
- 03 回転寿司は驚きのレベル
小さな子ども連れでも行ける回転寿司の、そのおいしさは驚きのレベル。



米子市美術館

小さな美術館ながら伝統的美術展からサブカルチャーまで面白い企画展を次々開催。隣接する図書館はキッズコーナーなどが整い子育て世代にも人気が高い。

移住前、移住後の満足度指数



ほとんどすべての面で、移住後の暮らしの方が充実している。ひとつ、時間的ゆとりがなくなったけれど、それも楽しいひとときである。



Profile ● 上野 永輔

職業／会社員
年齢／29歳
家族構成／妻・智美さん(30歳)、
長男・春くん(1歳)、長女・青ちゃん(1歳)、祖父・希賢さん(82歳)、
祖母・多留子さん(78歳)
在住年数／5年

神奈川県横浜市出身。両親のふるさと米子市へ孫ターン。住居の心配がいらなかったことが大きな弾みになった。

ほわっと よなご 応援隊

現在メンバー
約140人



いろいろな交流を通して
仲間作りをお手伝いしています

米

子市にーJU(移住)ター
ンを考えている方や、移
住してこられた方々の相談に
乗ったり、イベントを企画・開
催したりすることで移住者同士
の交流を図っています。

米子市で楽しく暮らすための
ちよこつと情報を得られます。
イベントに繰り返し参加するこ
とで知合いの輪を増やしませ
んか? 皆さまの参加をおまち
しています。



米子の特産白ネギの収穫体験!



SUPで日野川から日本海へ〜!!



伯耆古代の丘でバーベキュー!



海で作った塩でおにぎりを♪



2歳のちびっ子も登った米子城跡。



和菓子づくり体験!

お問い合わせ先

ほわっとよなご応援隊 代表／安達香澄 Email allldreamget@gmail.com

イベントに関する問い合わせ・参加申し込み

ほわっと交流会 代表／中上弘恵 Tel.080-3887-2517

f FBでイベントを
紹介しています





私も実は
1ターンなんです！

米子市
移住定住相談員
中上弘恵

1ターンの私だから 親身になって相談に乗れます。

20年前、山口県から米子市へ移り住んできました。米子市の空の広さや、海がすぐそばにあること、そして太陽が水平線や地平線ぎりぎりまで見えていることに感動したものです。その感動を写真に残しておきたくて、カメラが趣味となりました。当初は、方言がわからない部分もありましたが、京都弁に似たほわっとした柔らかさに、どこか懐かしさを感じました。

私が出会う人は、人当たりが良く初対面でも優しく話しかけてくださる方が多かったです。3人の男の子を育てる中で、夜に熱を出したり怪我をした際も、近くに救急病院や夜間診療所があり、とても助かりました。

米子市は、東西に長く、海に近いところ、山に近いところ、住宅が密集し、マンションが立ち並んでいるところ、様々な顔をもっています。また、「静かな場所で暮らしたい」「たくさんの人と関わりたい」あるいは「近所の人とは程よい距離感で過ごしたい」「趣味の合う人と交流したい」など、多様なライフスタイルを受け入れてくれるのも米子の特徴です。

このたび移住定住相談員という役目をいただき、同じ1ターン者として、仕事や子育てなどを経験した立場から、相談に乗らせていただこうと思っています。方言や風土など、慣れないことばかりだと思いますので、検討段階から、実際に移住された後までフォローさせていただきます。連絡をお待ちしています。

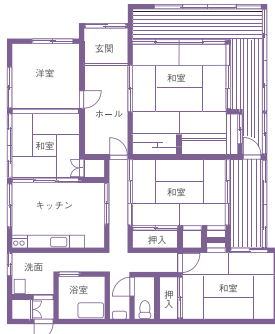
お問い合わせ
米子市役所
米子市移住定住相談窓口
TEL.0859-23-5359
〒683-8686 鳥取県米子市加茂町1-1
e-mail iju@city.yonago.lg.jp
<http://www.city.yonago.lg.jp/iju/>

米子市 移住 検索

おためし住宅②

大篠津

米子鬼太郎空港すぐ近くの物件です。昔ながらの木造の平屋建て。広縁や床の間のある本格和室を含め居室が5室とIHキッチン・ヒーター付きのキッチンがあります。



《住宅情報》
◎5DK(134.49㎡)
◎木造平屋建て
《周辺情報》
◎米子鬼太郎空港近く
◎弓ヶ浜海岸、境港近く

米子駅前エリア



山陰・米子、陸の玄関口

米子の陸の玄関口「米子駅」に近く、アクセス至便。中心市街地の賑わいの中に、白壁土蔵群など歴史が色濃く残り、また市役所や美術館、図書館、大学病院など生活機能が集積しているエリアです。

おためし住宅開設!!

米子市への移住を考えている県外の方々を対象に
お試し住宅の貸し出しを始めました。

- 鳥取県西部の自然や食に触れ、住みやすさを体験！
- 米子での生活を体験し、米子市民と触れ合ってみる。
- 米子に移住するための住宅や仕事探しの拠点として活用。

《使用料金》

初日から3日目まで	9,000円
4日目から7日目まで	1日あたり2,500円
8日目から90日目まで	1日あたり1,200円

※1ヶ月未満の使用の場合は別途消費税が必要です。
※日常生活にかかる諸費用や水道光熱費は自己負担です。

《使用期間》

3日以上～90日以内

《設備等》

- ◎家具・家電付き
- ◎インターネット使用可
- ◎駐車場あり

美保関町

美保関灯台

大篠津エリア



中海・日本海に囲まれたまち

米子市の北端、弓浜半島に位置する大篠津。米子駅と境港駅を結ぶ境線が通り、特産の白ねぎ畑の中を鬼太郎電車が駆け抜けます。空の玄関口、米子鬼太郎空港にも近くアクセスも便利。

東京まで
飛行機で85分

おためし住宅③

米子駅前



《住宅情報》

- ◎2DK(53.88㎡)
- ◎鉄筋コンクリート3階建て(3階部分)

《周辺情報》

- ◎米子駅から徒歩すぐ
- ◎ショッピングセンター、スーパーすぐ近く



Free Style Life Yonago

米子暮らしをしませんか?

淀江エリア



古代の歴史と名水のまち

大山を背景に、眼前に日本海を望む淀江町。「妻木晩田遺跡」や「上淀廃寺跡」などの国の史跡が点在し、また古代から続く豊かな名水と温泉が湧き出る、めぐみ豊かな大地が広がります。



至倉吉・鳥取→

大阪まで車で3時間20分

おためし住宅①

淀江

1Fは車庫・倉庫
和室も洋室もあり

国道9号線から一筋入った、閑静な住宅街。キッチンがガスコンロを完備し、二間続きの和室もあり、落ち着いた佇まい。



《住宅情報》

- ◎3LDK(133.13㎡)
- ◎木造2階建て

《周辺情報》

- ◎名水スポット、日帰り温泉施設、史跡公園など近く

